丘に立ちて

詩曲　鈴木こうせい

♩＝80

ふるさとーーの　おかにたち
ふるさとーーの　おかにたち
ふるさとーーの　おかにたち

おさなごーは　うみをみつめ
おさなごーは　ときをすぎて
もうかえらない　はまのまちが

かもめまーーて　なみしずか
わすれられない　わがまちを
しんじられない　ほうしゃのう

しおかぜーは　ほほをつたう
くろいうみが　うめつくす
いまもなーお　まちをけがす

とおくおきにーは　みさきがのびて
いえもちちははもれ　とももすべてを
じしんいつもゆれ　とまらないちに

1.2.

ゆーひにそまるこぶねがかえる
のみこみさったつなみをにくむ
ゆるしはしないいくたのげんぱつよ

三　二　一

丘に立ちて

ふるさとの　丘に立ち
幼子は　海をみつめ
かもめ舞って　波静か
潮風は　ほほを伝う
遠く沖には　岬がのびて
夕日に染まる　小舟が帰る

ふるさとの　丘に立ち
幼子は　時を過ぎて
忘れられない　我が街を
黒い海が　埋めつくす
家も父母も　友も全てを
のみ込み去った　津波を憎む

ふるさとの　丘に立ち
もう還らない　浜の街が
信じられない　放射能
今もなお　街を汚す
地震いつも揺れ　止まらない地に
許しはしない　幾多の原発よ